

排出量取引セミナー

「始動するアジアの国内炭素市場と今後の展開」

主催: 環境省、(公財)地球環境戦略研究機関 (IGES)

日時: 2013年3月6日(水) 14:00~17:00

会場: 富国生命ビル 28階大会議室

言語: 日英同時通訳

プログラム案

14:00-14:05	開会あいさつ 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 市場メカニズム室長 奥山 祐矢
14:05-16:05	I. アジアにおける先行事例 <ul style="list-style-type: none">- 韓国における目標管理システム(TMS)実施状況及び排出量取引制度(ETS)の詳細 (発表者調整中)(発表 30分)- 中国における2省5市排出量取引低炭素パイロット事業(北京市等)の詳細 清華大学 エネルギー環境経済研究院 助理研究員 王 宇氏(発表 30分)- タイにおける自主参加型排出量取引制度(TVETS)及び自主排出削減制度(T-VER)の導入検討状況 タイ温室効果ガス管理機構(TGO)カーボンビジネスオフィスディレクター ポンピッパ・ローソンプーン氏(発表 20分)- インドネシアにおけるヌサンタラ・カーボン・スキーム(NCS)及び導入検討状況 国家気候変動協議会(DNPI)(発表 20分)- ベトナムにおける政策決定「炭素取引の運営」を含むGHG管理計画の検討状況 天然資源環境省(MONRE)気象水文気候変動局気候変動課長 ホア・マン・ホアン氏(発表 20分)
16:05-16:15	休憩
16:15-16:55	II. アジアにおける炭素市場形成 <ul style="list-style-type: none">- 世界の炭素市場全体を踏まえたアジア各国における炭素市場形成に関する論点整理 地球環境戦略研究機関(IGES)市場メカニズムグループディレクター 二宮 康司(発表 15分)- パネルディスカッション モデレーター IGES 市場メカニズムグループディレクター 二宮 康司 韓国、中国、タイ、インドネシア、ベトナム、日本(ディスカッション+質疑応答 25分)
16:55-17:00	III. 閉会あいさつ IGES 事務局長 立川 裕隆